



首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

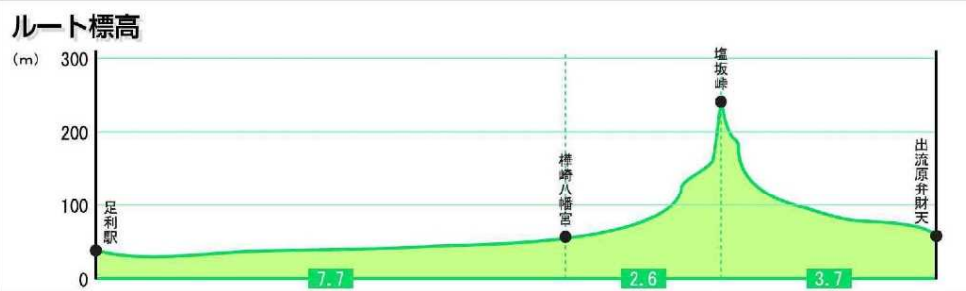
栃木県

8

マンサクの花咲くみち 14.0km

足利駅から、日本最古の学校である足利学校や、足利氏の菩提寺であるばん阿(な)寺を通して北上します。山沿いの集落をぬけ、さわやかな風そよぐ田園の道を行くと、やがて榊崎八幡宮に着きます。

さらに、水田地帯を歩くと雑木林の茂る山道にさしかかります。登りつめると、塩坂峠で、ここには塩の井戸と呼ばれる素堀りの井戸があります。峠道を下ると熊野神社を経て出流原弁天堂に到着します。



踏破認定撮影ポイント



榊崎八幡宮

鏝阿寺(ばんなじ)の開基足利義兼(よしかね)が身内の菩提のため創建した榊崎寺跡(国史跡)の中にあります。

3代目義氏(よしうじ)がお堂を建て、八幡神を勧請して義兼を合祀(ごうし)したことが八幡宮のはじまりと言われています。



鏝阿寺(ばんなじ)

足利氏2代目義兼(よしかね)が建久7年(1196)自らの館内に持仏堂を建て、守り本尊として大日如来を祀ったのが始まりで、3代目義氏(よしうじ)が堂塔伽藍(がらん)を整備し足利氏一門の氏寺としました。周囲に土塼と堀をめぐらした寺域は、ほぼ正方形で約40,000㎡あり、鎌倉時代の武士の屋敷(平城)の面影を今に伝えています。国、県、市の重要文化財が数多くあり、歴史の宝庫です。



足利学校

日本最古の総合大学といわれ、フランシスコ・ザビエルにより「日本国中最も大にして最も有名な板東の大学」と世界に紹介されたほどです。天文年間(1532~1554)の頃には、学徒三千人と言われ、当時の日本を代表する学校として、易学や儒学を中心に実践にも役立つ学問を教えていました。



マンサク

マンサク科の落葉小高木で、2~3月に葉に先駆けて黄色い紐状の花を咲かせます。マンサクの語源は、早春に咲くことから「まず咲く」が東北地方で訛ったものとも言われています。塩坂峠一帯に分布しています。



塩の井戸

弘法大師が諸国行脚で現在の「塩坂峠」にさしかかったとき、のどが渇いたので、窪地に湧いている水を飲んだところ塩辛かったので、井戸の名を「塩の井戸」、坂の名を「塩坂」と名付けたと言われています。



出流原弁天堂

日本名水百選にも選ばれている豊富な水は、古生層石灰岩の割れ目から湧き出しています。池に隣接する磯山の山腹には、弁天堂があります。また、マスの養魚場、旅館などもあり、赤見温泉として観光客の多いところです。



出流原(いずるはら)弁天堂

佐野市出流原町の磯山の山腹に、朱塗りの弁天堂があります。山腹に安置された弁天堂は大変めずらしいものです。弁天堂は技芸学問の守護神として948年に建立されたもので、地域住民の「水車講」信仰により、現在地に安置されました。

問い合わせ

- 栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当 TEL028-623-3211
 - 栃木県南環境森林事務所 環境企画課 TEL0283-23-1441
 - 足利市役所 商業観光課 TEL0284-20-2165
 - 佐野市役所 公園緑地課 TEL0283-61-1170
- 〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20
 〒327-8503 佐野市堀米町 607
 〒326-8601 足利市本城 3-2145
 〒327-0398 佐野市田沼町 974-1